

事業目的

・スマートフォンなど多機能なインターネット接続端末の急速な普及に伴い、青少年がインターネットを通じた犯罪・トラブル・いじめ等に巻き込まれる事例が後を絶たないことから、青少年が適切にインターネットを利用できるようフィルタリングの更なる普及啓発に努めるとともに、青少年のネット・リテラシー向上に向けた取組みを充実させる。  
 ・そのため、行政、教育機関、警察、PTA、民間事業者等で構成する「大阪の子どもを守る対策事業実行委員会」を設置し、子どもがインターネット等を介して事件やトラブルに遭わないよう、子ども自身が使い方を見直し、大人も一緒に適切な利用方法を考えることを目的とした「ネット利用をみんなで考えるプロジェクト」等を実施する。

●実行委員会の設置

行政、教育機関、警察、PTA、民間事業者、学識経験者、青少年育成大阪府民会議等の関係機関による実行委員会 (①5月21日書面審議、②1月中下旬に実施)

○事業の企画 ○運営に関する指導・助言 ○事業実施後の評価

事業内容

1. 「ネット利用をみんなで考えるプロジェクト」の実施

●スマホの利用実態についてのアンケートを実施 (6月～8月)

大阪の子どもや保護者の実態を知り、課題と対策について考える際の基礎資料とする。

●児童・生徒向けワークショップの開催(1回目 7/10・2回目 10/3)

児童・生徒が企業や関係機関からネットトラブルやネット・ゲーム依存、SNSを通じた犯罪被害の現状とそれぞれの対策について学ぶ機会を設け、それらを踏まえ、スマホの使い方について議論を深める。

【参加校】5校(中学校3校、高等学校2校)

【内容】企業や関係機関の具体的な取組等についての講義及びグループ討議

1回目 講師:府人権擁護課(インターネット上の人権侵害)、神戸大学主任教授(ネット・ゲーム依存問題)、フリービット(株)(企業におけるネットトラブルへの対策)

2回目 講師:府警察(SNSを通じた犯罪被害の現状)、フェイスブックジャパン(株)(企業におけるネットトラブルへの対策)

⇒2回のワークショップにおいて行政・企業・保護者・教員・児童生徒への提言を考える

●保護者向けワークショップの開催(1回目 7/26、2回目 9/6延期)

保護者同士が、各家庭での子どものスマホ利用にあたっての課題や解決策を共有し、保護者向けの啓発について考える。

【参加者】22名 うち1回目参加者19名

【内容】

1回目 子どものゲームの利用についての実演により、課金や悪意を持った大人との出会い、長時間利用等について知る機会を設け、それについて議論し、子どもと保護者の認識の差を確認。

2回目 子どものインターネットの適切な利用について議論

⇒2回のワークショップにおいて行政への啓発に係る提言を考える

●適切なネット利用の実践事例プレゼンコンクールの実施(応募校2校)



●青少年のインターネット利用環境づくりフォーラムの実施 (内閣府事業)

【開催日】10月31日(日)

【場所】ATCホール コンベンションルーム1

【内容(案)】

第一部

・開会(内閣府、大阪府)

・開会宣言

・府内の情勢について

(情勢説明及びアンケートの結果報告)

・基調講演 兵庫県立大学 竹内和雄准教授

・適切なネット利用の実践事例プレゼンコンクール

第二部

・ワークショップ参加校による成果発表

・トークセッション

・児童・生徒、PTA、事業者、神戸大学主任教授

・閉会宣言

≪昨年度のフォーラムの様子≫



2. 「スマホ・SNSのトラブルから青少年を守るための講師派遣」の実施

講師:NTTドコモ、KDDI、J.COM、グリー(株)、デジタルアーツ(株)



3. 「事業報告書&事例・教材集」の作成

府青少年課HP、ツイッター等で事業報告や教材の周知を行う。(3月予定)